

# 東輝中便り

第3号



2020.7.3  
広報委員会発行

## 「新しい生活様式」 「新しい学校生活」

校長 川勝 哲也

2020年度(令和2年度)がスタートしまして、早くも1学期のまとめで7月に入りました。保護者の皆様をはじめ日頃お世話になっている校区の皆様におかれましては、何かと本校の教育活動をいろいろな側面から支えていただき、心より感謝申し上げます。今年度は4月9日(木)、規模を縮小しての第42回入学式をさせていただきました後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために学年を分散して何とか数日間登校日を設定したものの、臨時休校が大幅に延長されたことにより学校の全ての活動が6月再開となりました。これまで、各教科の授業や活動、取組、学校生活全体に制限事項や配慮事項を加えておりますので、生徒達には窮屈な思いをさせており大変心苦しいものがあります。ただ、うれしいことに多くの生徒達は、教師の指導を理解して感染症の拡大予防に向けて意識を高くして学校生活を送っています。

すでにお知らせしましたように、1学期を7月31日(金)まで「8月3日(月)〜7日(金)午前中に学力補充、午後三者面談を計画中」とし、2学期は8月18日(火)から始めます。学習面につきましては、授業時数を増やしたり指導方法を工夫して、できる限りの回復を図っております。また、各種夏季大会やコンクール等が変更や中止となっておりますが、体育祭や文化祭、延期になってはいる修学旅行等については、近々決定したいと考えております。さて、新型コロナウイルス感染症の現状ですが、日本国内での感染拡大は落ち着きつつあり、いろいろな「自粛」も緩和されてきているところであります。感染症の専門家である国立病院機構三重病院の谷口清洲(たに

くちきよす)医師が今後に備えて意識しなければならぬことなどについて解説されていますので、その概要を下記により紹介させていただきます。

『中国や韓国、東アジア諸国では、第一波を終えて収束に向かっているように見えますが、世界的に見れば感染拡大ペースはむしろ加速しており、決して安心できる状況ではなく、判断を許さない状況であると考えた方が良いでしょう。このウイルスが今後どうなるかは誰にもわかりません。少なくとも現段階で言えることはこのウイルスは人間に適応しており共存関係に近づきつつあるということです。無症状のまま誰かがウイルスを保持している可能性が高いので、今後も散発的に感染者は発生すると思われれます。密集状況で人から人への感染がなければクラスターとなっても多くの患者が発生し、そこから派生して複数のクラスターが発生することも予想されます。』

インフルエンザと同様に気温が上昇すれば収束するという意見もありますが、高温多湿の国でも感染が広がっていることを考えると、必ずしもそうは言い切れない状況です。日本で感染者数が減っているのは「自粛」を伴う対策が功を奏したからであって、季節とは深い関係はないと考えるべきでしょう。

「第2波」はいずれ必ずやってきます。その時、感染の規模を大きくしないことが重要です。夏の間、一時的に感染が収まっていたとしても、人々が観光地に密集する秋の行楽シーズンやウイルスが飛散しやすい冬に再び大きな感染爆発を引き起こす危険性があります。

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行にも気を付けなければなりません。インフルエンザの流行は10月から5月中旬まで続きます。新型コロナウイルスの感染が再拡大している間にインフルエンザや他の呼吸器系ウイルスによる風邪症候群などにかかった人が病院に押し寄せると、医療機関では症状だけで感染症を識別できません。

で、医療現場での混乱が危惧されます。昨年から今年にかけてのインフルエンザの流行は、例年に比べ早めに終わりました。これは今年の季節性インフルエンザがそういった性質だったかも知れませんが、人々がソーシャルディスタンスを保ち手洗いを励行し、マスクを着用するなど新型コロナウイルス対策が一定の成果があったことは否めません。必要以上に不安になったり、強いストレスを感じることは健康には良くありません。今後、引き続き「密集・密閉・密接」の「3密」を避けつつ、手洗いの励行、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保など、対策を取り入れた「新しい生活様式」を実践することが求められます。

今後もしも生徒達の学校生活において、最大限の感染予防対策に努め、感染拡大しないようにしっかりと取り組んで参りますが、「新しい生活様式」に関わらず熱中症予防も意識しなければなりません。特に、マスクの着用については「基本的に学校生活では常時マスクを着用することが望ましい」という視点に立って指導を継続しますが、校舎の外で十分なソーシャルディスタンスが確保できる場合、「熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は」マスク着用の必要はないこととします。

今後もしも引き続き、感染予防対策をすることが「当たり前」という意識を持って「新しい学校生活」をすすめていかなければなりません。保護者の皆様をはじめ校区の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 東輝中の特別活動

特別活動主任 仁頃 駿一



昨年の11月に誕生した新生徒会本部では、「輝・笑・転・結」をスローガンとして、「学校の名のとおり、東に輝き笑顔絶やさず、失敗しても協力し合い、よりよい自分たちになっていく」という思いを込めて、様々な活動を昨年度末に計画していました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当初の計画がほとんど白紙になってしまいました。それでも、生徒会本部は前向きです。こんな時だからこそ、「日常」を大切に、「今だからできる活動」、「今必要な活動」を考え、動き出しました。例えば、新型コロナウイルス感染症予防として現在取り組んでいる「手洗い・消毒の徹底」、「1mの間隔をとること」、「登下校の東輝中モテル」。こういった感染予防を自分たちの力でやり切れるための工夫を考えています。また、最近では少しずつ意識する生徒の増えてきた「立ち止まって挨拶すること」も、その意義を理解してもらえ工夫を考え、広めていきたいと考えています。このように今までに経験したことのない状況であっても、「考えること」を続けアイデアを出しています。「考える力」はこれから先最も必要な力になります。

現状をその力を磨く絶好の機会ととらえ、全校生徒で組織される生徒会を活性化していきたいと考えています。1人ではできないことも2人ならできる。2人ではできないことも3人ならできる。本部役員だけではできないことも全校生徒でならできます。みんなが安心して過ごせる東輝中学校をみんなの力で創り、「今の僕ら」を「こえて」いってほしいと思います。

部活動では、いよいよ元氣な1年生の姿が見られるようになりました。6月18日(木)、19日(金)に見学をし、同22日(月)、23日(火)、25日(木)、26日(金)に部活動体験に参加した1年生。体験等を通じてよく考え、29日(月)に本部を迎えることとなりました。中学校に入学して、部活動を楽しみにしていた人も多かったと思いますが、休校等でなかなか始まりませんでした。制限されることはありますが、ようやく本格始動していきます。先輩の姿をよく見て学び、心身共に大きく成長して欲しいと思います。暑さの厳しい日が増えてきましたので、くれぐれも体調管理には気を付けて、それぞれの活動に一生懸命参加してください。



あれば、「今までにないこと」に取り組めば良いのです。考えましょう。「考える力」がみんなの未来を切り開きます。日々の授業の中で「考える力」を養い、何が起きるか予想のつかない状況であっても、強く生き抜いてほしいと思います。我々教職員も君たちの成長を支えるため、考えることをやめません。

保護者の皆様、日頃学校の様々な活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。この先も、新型コロナウイルスだけでなく、熱中症をはじめ健康にはご留意ください。今後とも本校の様々な活動に対しまして、ご支援をよろしくお願いいたします。

## 部活体験の様子

運動部ではランニングやボール等の練習、文化部ではスケッチや楽器演奏体験等を行いました。



## これからの予定

日	曜	主な予定
7/6	月	
7/7	火	回復授業(45分×7)
7/8	水	部活動なし(分散下校)
7/9	木	テスト前部活停止開始(分散下校)
7/10	金	放課後 質問教室①
7/11	土	
7/12	日	
7/13	月	放課後 質問教室②
7/14	火	期末テスト①
7/15	水	期末テスト②
7/16	木	期末テスト②
7/17	金	英語検定①
7/18	土	
7/19	日	
7/20	月	
7/21	火	回復授業(45分×7) 非行防止教室3年
7/22	水	部活動なし(分散下校)
7/23	木	海の日
7/24	金	スポーツの日
7/25	土	
7/26	日	
7/27	月	
7/28	火	回復授業(45分×7)
7/29	水	熱中症予防教室 6校時生徒総会(放送) 部活動なし(分散下校)
7/30	木	
7/31	金	終業式(分散下校)

## 8月の主な予定

- 8/1~ 夏期休業
- 8/3.4.5.7 午前中学力補充
- 8/3~7 午後三者面談
- 8/18 2学期始業式



## 学校計画集金について

7月10日(金) 引き落としの金額をお知らせします。

- 1年生: 6,000円
- 2年生: 11,000円
- (修学旅行積み立て含む)
- 3年生: 6,000円

\*引き落とし日が近づいてきました。よろしくお願ひします。